

2020年 春期 特別支援教育支援員（学習支援員）養成講座 応募要項

2月9日～3月21日、土日祝日が6日、平日1日の計7日間です

Facebook「子ども支援室カシオペア」に講座の写真あります

NPO法人子ども支援室カシオペア
ディスレクシア協会名古屋

養成講座のねらい

小・中学校の通常学級で、特別な支援を必要とする子をサポートするため、特別支援教育支援員（学習支援員）が、2007年（平成19年）から配置され始め、2019年の全国平均は1校につき約1.8人、市町村によっては1校に2人以上配置されている学校も数多くあります。

名古屋市では、2011年（平成23年）、「発達障害対応支援員」の配置が16人で始まり、その後2015年までは微増でしたが、2016年度以降は、全校配置となり、幼稚園も含め全395校に各1人配置されています。

この養成講座は、名古屋市の制度に先駆けて、2010年春に第1期養成講座を実施、その後、春秋の年2回開催、2019年秋の第20期養成講座までに計707人の方が修了されました。名古屋市をはじめ、各市町の学校現場で活躍されています。

名古屋市内の植田東小学校、桶狭間小学校などいくつかの学校には、この養成講座修了生が、学習支援ボランティアに入っています。2013年からは養成講座修了生対象のスキルアップセミナーも各学期1回、年3回行っております。

支援員が集団の中に入ると、サポートを必要とする子のみならず、その集団全体に変化が表れます。先生はさまざまな対応、指導がしやすくなります。支援員は、一人ひとり違う個性豊かなLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、ASD（自閉スペクトラム症）などの子どもたちについて理解と対応スキルを学び、その学校の指導方針（個別指導計画）を理解し、先生方の指示を受けて支援する力量が必要になります。

子どもたちの放課後を支援する「放課後等デイサービス」の指導員、学童保育の指導員「放課後児童支援員」も研修、資格が必要な時代になりました。学校における支援員も、近い将来、文科省が設置基準、研修の義務付け等を示すかもしれません。さまざまな知識を学んだ人が、不安やストレスの少ない効果的な子育て支援をされるのだと思います。

発達障害のある子は何に困っているのか、その原因は何か、どのような支援をすればよいのか、現場で役に立つ支援員を養成するために、今回も、さまざまな分野の専門の先生方にご協力いただきます。

講座内容／実施時期・場所

- ・ 講座内容：別紙のカリキュラムを参照して下さい。
- ・ 実施時期：2020年2月9日～3月21日の7日間、10時～15時30分、全14回の講座。
- ・ 実施場所：「ウィルあいち」（名古屋市東区上野杉町1 地下鉄市役所駅から徒歩5分）

受講生の条件

- ①発達障害について多角的に学び、子どもの支援に役立てたい人（保護者、支援者、学校関係者など）
- ②講座受講中に知れた個人情報の「秘密保持」について誓約できること
- ③受講料26,000円を前納すること、定員35人

*本講座は名古屋市の「発達障害対応支援員申込書」に、研修28時間として記入することができ、「受講修了証」は、教育委員会に対し、受講を証明する書類になります。

★公開講座（*印のついている講座）の一般席は15席ほど、ご用意をしています。

公開講座にお申し込みの方は、受講条件はなく、どなたでも受講できます。メールで先着順に受け付けます。1講座（2時間）2,500円です。講座日、講座名、名前、郵便番号、住所、電話、携帯番号、職業を明記し、メールで下記に送信して下さい。

申込受付の手順

- ① **1月11日までに**別紙「特別支援教育支援員養成講座受講申込書」に必要事項を記述し、郵送またはメール添付にてお申し込み下さい。申込先【子ども支援室カシオペア】メール kodomosien@gmail.com 電話 052-228-0842 FAX052-228-0846 〒456-0024 愛知県名古屋市熱田区森後町 7-14 沼田ビル3階 NPO法人子ども支援室カシオペア <http://sites.google.com/site/kodomosien/>（この要項・申込書、ダウンロード可）

受講者には受講決定通知書を1月17日までに送付します。受講決定後、受講料は銀行振込で全額納付。

- ② 1月11日の段階で定員に達していない場合は追加募集、順次受付し、1週間以内に受講決定通知を送付。
※カシオペアでは週2回（火、水）に学習支援（フリースクール）を行っています。小中学生対象です。ご興味のある方は <https://sites.google.com/site/fskasiopea/>（「フリースクールカシオペア」で検索、もしくはお問い合わせ下さい）。

2020年春期 特別支援教育支援員（学習支援員）養成講座の内容（予定）

*印は公開講座になります

回、月日	タイトル	時間	講師	内容
(1) 2/9(日) 場所：ウィル あいち 3 階 会議室 5	オリエンテーション	10:00 ～ 12:00	子ども支援室 カシオペア	コースの進め方、その他事務手続き 受講生自己紹介
	* 特別支援教育について	13:30 ～ 15:30	名古屋市立 植田小学校長 岩室徹	名古屋市の特別支援教育（特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室、通常の学級での支援）や、学校組織と運営、支援員の役割、課題などについて、話していただきます。
(2) 2/11(火祝) 場所：ウィル あいち3階 会議室 5	* 発達障害とは	10:00 ～ 12:00	心理療育研究所 トマニ教室 繁昌成明	30年にわたる豊かな経験をひまえて、LD、ADHD、アスペルガー、自閉スペクトラム症の診断基準その変化と、発達障害のある人の理解と対応のポイントを学びます。
	* LD 疑似体験	13:30 ～ 15:30	ディスレクシア 協会名古屋	見る、読む、聞く、話す、書くなどの困難さを体験するプログラムを使い、LD など発達障害のある子に、どのような対応をすることが望ましいかを考えます。
(3) 2/19(水) 場所：ウィル あいち 3 階 会議室 5	* 行動療法の基礎と実際	10:00 ～ 12:00	中京大学教授 坂井 誠	応用行動分析を中心に、発達障害児への支援につながる行動療法の基礎を学びます。行動の理解、課題分析に基づく、具体的な支援法について話していただきます。
	教室の場面でのロールプレイ	13:30 ～ 15:30	子ども支援室カシオペア中久木俊之 ディスレクシア協会吉田やすえ	子ども、支援員、教師、クラスメイトの関わりを、具体的な場面を想定し、ロールプレイを通して体感します。ワークショップを通じて対応のポイントと問題解決の糸口を学びます。
(4) 2/23(日) 場所：ウィル あいち 3 階 会議室 5	* 感覚統合と作業療法	10:00 ～ 12:00	名古屋リハビリテーション 会館東部地域療育セクター ぼけっと 作業療法士 水科順子	発達性運動協調障害など、発達に遅れのある子の行動や運動を理解し、改善していくために、感覚統合(感覚情報処理)の理論と作業療法について学びます。
	* 心理検査でわかること・検査結果の支援への活かし方	13:30 ～ 15:30	桑名発達臨床研究室 小笠原昭彦	元名古屋市立大学教授の小笠原昭彦先生に、ウィスク(WISC)などの心理検査のしくみとその検査でわかること、検査結果の支援への活かし方について、くわしく教えていただきます。
(5) 3/8(日) 場所：ウィル あいち 3 階 会議室 4	* 学校現場におけるABA	10:00 ～ 12:00	心理学博士、国際認定行動分析士 竹島浩司	ABA（応用行動分析）の実際の紹介から、学校、家庭、療育で有効に使える支援方法と問題解決への分析方法を学び、学校で何ができるかを考えます。
	* 子どもの人権と発達障害&早期療育「サンライズプログラム」	13:30 ～ 15:30	弁護士 岩城正光 Team Lenny 代表 ドーマン朋子	前半は、CAPNA（子どもの虐待防止ネットワークあいち）元理事長で元名古屋市副市長の岩城正光弁護士に、人権から見た特別支援教育について、後半は家庭での早期療育「サンライズプログラム」についてドーマン朋子さんから学びます。
(6) 3/15(日) 場所：ウィル あいち 3 階 会議室 5	* 自閉スペクトラム症の多様な状態像の理解と支援	10:00 ～ 12:00	ロイヤルベルクリニック発達相談 PRISM 医師 早川星朗	自閉スペクトラム症の子は、知的理解のレベル、ADHD の併存、こだわる内容の違いなど多様な状態像を示します。アセスメントし、本人の困難さを尊重して支援される早川星朗医師に、どう理解し、どのように支援したらいいか学びます。
	支援ツール体験ワークショップ	13:30 ～ 15:30	子ども支援室 カシオペア 中久木俊之	行動を支援する支援ツール（視覚表示など）を、子どもに合わせてどのように作成したらよいか、課題分析を活かして具体的な場面での観察、分析、対応の方法を学びます。
(7) 3/21(土) 場所：ウィル あいち 3 階 特別会議室	* 発達に伴う視覚認知の問題への対応	10:00 ～ 12:00	キクチ眼鏡専門学校教授 加藤元嗣	発達障がい児の視覚認知の発達、視覚発達検査、眼球運動、視覚と学習の関係、効果的なサポート方法など、わかりやすく話していただきます。
	まとめ・終了式	13:30 ～ 15:30	子ども支援室カシオペア・ディスレクシア協会名古屋	修了生各自の報告、共有

2020年春期 特別支援教育支援員養成講座受講申込書

下記のとおり、特別支援教育支援員（学習支援員）養成講座の受講を申し込みます。

申込年月日 年 月 日

(ふりがな) 氏名			
住所	〒 -		
電話	()	携帯：	
e-mail			
生年月日・年齢	19 年	月	日 歳
健康状態			
学歴・職歴及び資格			
現況 (職業、社会活動、 「主婦」等)			
受講希望の理由 (400字以上800字程度) ※スペースが不足する場合は別紙添付可			
講座受講中に知りえた個人情報について守秘義務を守ることについての誓約	する	しない	

※・本申込書の記載内容につき直接確認させていただく場合があります
 ・本申込書に記載された個人情報は、特別支援教育支援員養成講座の業務連絡およびディスレクシア協会名古屋、子ども支援室カシオペアが実施する関連事業のご案内に使用いたします